



いきいき北っ子

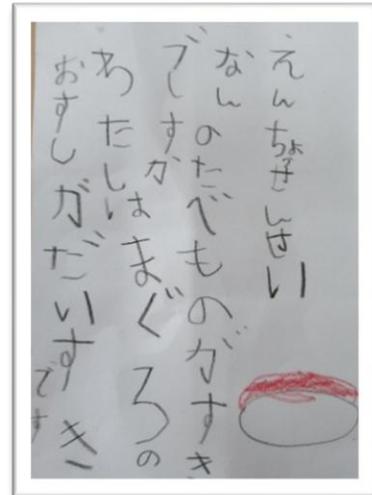
郵便屋さんごっこ

大寒を過ぎ、少しずつ春に近づいているはずですが、まだまだ寒い日が続いています。1月23日は、まとまった雪が降り園庭も真っ白になりました。来週には立春を迎えますが、春の訪れは、もう少し待たなければなりません。



早いもので、明後日から2月です。年長児は、こども園での生活もあとわずかとなりました。子どもたちの姿を見ていますと、小学校への不安よりも早く学校へ行きたいという、わくわく感が大きいようです。

さて、そうした気持ちの中、年長児が「郵便屋さんごっこ」を始めました。そのきっかけは、各家庭に届いた年賀状からです。子どもたちは、自分の思いを伝える手段に、言葉のほかに手紙があることを知りました。担任の先生から、鉛筆の正しい持ち方や、消しゴムの使い方を教えてもらい、さっそく書くことに挑戦しました。友達や先生に何を伝えたいのかを明らかにし、ひらがな表を見て書いたり、友達に教えてもらったりしながら思い思いに書きました。書き終わると「上手に書けた」と喜んでいました。



小学校とのスムーズな接続を考慮すると、この時期に文字（ひらがな）や数に親しむことは、入学後の抵抗を和らげるよい遊びです。郵便屋さんごっこに夢中な子は「自分の名前を縦書き、横書きどちらも書けるようになりたい」「ひらがなを覚えたい」「おうちでひらがなや1～10までの数字を全部書いてみる」と、様々な願いをもちはじめました。ご家庭において、お子さんが文字や数に関心を示すようでしたら、遊び感覚で構いませんので「気持ちを伝えたい人に手紙を書いてみたら？」と、声をかけていただければ幸いです（差し支えなければ、ご家庭で書いた手紙を持たせてください）。

